

一般質問



市長の政治姿勢

問 人口減に歯どめをかける市長の思いと決意を聞きたい。

答 子育て支援と教育の向上、産業の多様化と雇用の場の確



学童保育所・クラブ開所時間の延長実現を

問 子育てしやすいまちの実現には学童保育所・クラブの充実が不可欠。開所時間の延長を早急に実施すべきでは。



誰もが安心して暮らせるまちそれなら、おおむた

問 本市の若年型認知症支援の現状について聞きたい。

答 平成21年に、認知症の当事者同士の出会いとつながり

保などさまざまな取り組みにより人口減少の抑制につなげたい。

動物愛護

問 動物飼育を通じた生命尊重教育について聞きたい。

答 動物とのかかわりを通して動物が生命を持っていることや生き物への親しみ、生命的の尊さなどに気づく貴重な体験の場と考えている。

問 平成30年度以降の野良猫不妊・去勢費用助成の継続と

答 基本的には開所時間を延長していくという観点に立ち、検討を進めていく必要があると考えている。

災害発生時の体制は十分か

問 大規模災害発生時の業務継続計画が立てられているが、熊本震災以降に見直した点は。

答 現在作業中の受援計画の策定の中で、新たな課題や支援業務に携わった経験も踏まえ、今後見直していきたい。

問 庁舎が使用できなくなつ

を深める会「ほやき・つぶやき・元気になる会」の発足を支援した。同会では、毎月1回の定例会や小旅行等の活動を行うほか、ことし4月には認知症フレンドシップキャンペーンとして、市内を歩くメモリーウォークを主催した。

今後も当事者の方々の主体性を引き出しながら、活動の支援を行ってまいりたい。

情報発信で積極的に… それなら、おおむたと宣言を！

問 市長の情報発信は効果が

予算アップをしてはどうか。

答 取り組みの効果等を検証し、平成30年度以降の事業継続等、全てを検討したい。

安心安全なまちづくり

問 LED防犯灯設置のさらなる推進についての見解は。

答 市としては明るいまちづくり協議会や校区まちづくり協議会などと連携を図り、さらなるLED防犯灯の設置と普及に努め、防犯灯設置の意義の啓発にも努めたい。

た場合の代替施設は文化会館が設定されている。業務が継続できる設備は整っているか。

答 本来の用途と違っており設備環境は整っていない。指定地方公共機関などと連携し、災害発生後、速やかに設備環境が整えられるよう努めたい。

大河ドラマ誘致は積極的に

問 柳河と三池は兄弟藩。柳川市と一体で誘致すべきでは。

答 本市にもゆかりがあり招致委員会に参画し協力したい。

大きく重要と考えるが、今一番強調したいことは何か。

答 今現在、本市の公式キャラクター、ジャー坊に関するPRを強調している。

再発言 市長が強調したいことを宣言として発信することを提案したい。市の宣言は、取り組み姿勢を対外的に示すもので、宣言に費用はかかるない。また、市が重視している課題を表現でき、積極的に取り組もうとしている姿勢を内外に示すことができるという効果が期待できると思う。